

10月定例教育委員会 会議録

日 時	平成29年10月12日(木) 午前9時45分～午前10時25分
場 所	9階会議室9-2
出席委員	小林教育長・小宮山職務代理者・原委員・堀委員・市川委員
出席事務局職員	小林教育部長・嶋田教育総室長・望月生涯学習室長・塩澤総務課長・松田学校教育課長・宮川学事課長・照沼教育施設課長・本田甲府商業高等学校事務長・碓井甲府商科専門学校事務長・田中生涯学習文化課長・飯田スポーツ課長・本田図書館長・村田総務課課長補佐・芦川総務課課長補佐・鷹野総務課係長・杉山総務課主任
傍 聴 人	
署名委員	
委員会書記	

・会議録署名委員の指名 小宮山職務代理者

・9月定例会及び臨時会会議録の承認 原案のとおり承認

小林

堀

小宮山

市川

原

1 開会

小林教育長

これより、10月定例教育委員会を開会します。

(1) 教育委員あいさつ

小宮山職務代理者

本日は新体制になりまして初めての教育委員会ということでございます。

私は委員になりまして、気がつきましたら2期8年を越えてしまいました。長い間研究者、技術者として仕事をしてまいりました関係で、チャレンジ精神の育成や創造的な人材育成についての話が多かったと思います。

前回、これから始まる英語教育について意見を述べさせていただいたと思いますが、今回は来年度から教科化される道徳教育について、意見というか事例を紹介しながら、今後の子供達の中から、日本の文化を基礎に持ちながら世界に通用する人材が輩出されたら、という想いの話をさせていただきます。

私は戦後間もない生まれではありますが、若い頃からどういうわけか、武士の死生観や人生観に共感するところがありまして、変な感じを持っています。例えば山形県鶴岡出身の作家藤沢周平が題材とする地方の小藩の武士の気骨ある生き方はとても好きで、書籍や映画、ドラマは良くみます。実は底流には日本人の生き方の根元があるような気がしていました。

そんな折、昨年、2016年2月14日（日）NHKスペシャル 司馬遼太郎思索紀行—この国のかたち—“武士”700年の遺産という放映がありました。作家・司馬遼太郎の作品『この国のかたち』を読み解きながら、“日本人とは何か”に迫るシリーズで、第2集のテーマは、“武士”でありました。司馬遼太郎が目した鎌倉時代の武士。私欲を恥とし、他者に尽くす“名こそ惜しけれ”の精神は武家政権の拡大とともに全国に浸透、明治国家という奇跡を生み出す原動力になったとまとめています。それは昭和の世に何をもたらしたのか？というような滑り出しだったと思います。

人はどう行動すれば美しいか、どう行動すれば公益のためになるか。武士はそれをいつも考えていた。幕末期に完成した武士という人間像は、日本人が生み出した、多少奇形ではあるが、その結晶の見事さにおいて、人間の芸術品といえるのではないかとっています。その凄さは例えば4年間という短期間に全国津々浦々まで行き渡った郵便制度に代表される。いわゆる特定郵便局制度であります。政府はこれを公務であると説き、武士の時代に醸成された公の意識を駆り立て一気に完成させました。教育制度もまさにそうであります。

鎌倉時代に誕生した武士の「名こそ惜しけれ」の精神。混乱の明治維新に、この公の意識が国の隆盛を導いたと解釈しています。明治維新に関わった武士達の行動の特徴は、痛々しいほどの清潔さであったと回顧しており、これが国を想う人々が成し遂げた維新の理由の一つであったとしています。

秋田県の海岸沿いに幅1km、長さ14km、クロマツ700万本という日本最大級の松原があります。この松原は、日本海からの強い西風が砂塵を巻き上げ、田畑や村に多大な飛砂を防ぐための防砂林であります。この植林の先駆けとなったのが下級武士であった栗田定之丞という人物であります。文化・文政期（1804-1830）に、海岸沿いの田畑や村を飛砂から守る海岸防砂林を完成に導いた栗田定之丞は、1796年、外国船の警備をする番人の職につきました。毎日、哨兵として沖を見続けている定之丞の両眼を砂が襲ったが、それよりも飛砂が耕作地を侵しているということに、定之丞はおそろしさを感じました。そこで定之丞は上司や村々の庄屋や世話役を訪ねてまわり、無償奉仕による植林を頼んだが、断られたそうです。

砂をとめて林にすれば薪にもなるし、堆肥にも役立つ。なによりも命の種の田畑が砂にうずめられなくてすむ。頼む、と言いつけるその様が、子供がおんぶしてくれとダダをこねるようだったから、「だだ之丞」と呼ばれたようですが、また、無料（ただ）にも掛けたあだ名だったかもしれないとのこと。

農民たちはこの栗田定之丞を嫌がって、伝染病にでもかかって死んでくれと言ったというような記述が残っているそうです。しかし、これには耳を貸さずをお願いする一方で、1人で植林方法を研究し、植林をしていったそうです。それらの植物がみな勢いづき、人々も定之丞の熱心さに打たれて協力し、現在に至ったそうです。栗田定之丞の死後も続けられ、江戸末期には、数百万本の松原が、秋田藩領の長い海岸を砂から守るようになりました。

明治中期以降から大正、昭和にかけてこの精神が大きく崩れていったのではと私も思います。戦後日本は個人主義が台頭し、長い年月をかけて武士の精神「名こそ惜しけれ」があまり省みられ

なくなったのではないかとされています。しかし一方、で個人主義や自由主義から生まれた考え方や行動は、多くのノーベル賞受賞者の輩出という素晴らしい面も持っていたのではと思います。

こうした中で、皆様もご存知のように国際サッカー試合後のゴミを拾いの姿、東日本大震災時の整然として並ぶ被災者の姿に世界から驚きと称賛がありました。このような時代にも実は武士の精神は生きているのであると思います。

道徳教育を教科として取り扱う場合に注意しなければならないのは、合理的な点数制度で輪切りにした建前の道徳教育であってはならないと思います。まだ、十分残っている日本人の公の心が自然に湧き出てくるような工夫した道徳教育にしてもらい、日本の伝統に根ざしながら、自由闊達な日本人の姿がさらに際だって欲しいと思った次第です。

(2) 会議録署名委員の指名

小林教育長

会議録の署名委員は、小宮山職務代理者を指名します。

(3) 会議録の承認

小林教育長

平成29年9月4日の臨時教育委員会及び9月13日の定例教育委員会の議事録をご確認いただきまして、ご承認いただけますでしょうか。

よろしいでしょうか。それでは決定いたします。

【原案どおり決定】

(教育委員会承認)

2 議事

(1) 報告

小林教育長

報告 第13号 平成29年度全国学力・学習状況調査の甲府市における調査結果のポイントについて、資料に基づきまして、松田学校教育課長より説明をお願いします。

(松田学校教育課長より資料に沿って説明)

小林教育長

説明が終わりました。これより質疑に入ります。ご意見・ご質問等ありませんか。

原委員

2年前から比べて、だいぶ上がってきたという印象で、先生方の努力の賜物だと思うので、感謝申し上げます。上回るという言葉が出てくるのでうれしく思います。

1ページにある結果について、先月の定例教育委員会でいただいた資料と○が変わっているのですが、評価の数字が変わったのでしょうか。

松田学校教育課長

前回と表記の仕方が変わっているだけで、評価自体は変わりません。

原委員

18ページの授業改善について「見通し」と「振り返り」を意識した甲府スタイルの授業が浸透してきたことによって、結果が改善されてきていると思うのですが、児童生徒の捉え方と教師側との捉え方のギャップが大きいというところが気になります。

教育視察の際、先生方の中にきちんと黒板に今日のめあてや目標を書いている先生と、書いていない先生とバラつきがあると、伺う度に思います。

私は、黒板はなるべくきれいにして、掲示物を貼らない方がいいと思うのですが、掲示物が貼ってある中に書いていたり、まったく書いていない先生もいます。そういったことも指導をしているというお話でしたが、ぜひ統一していただけたらいいと思いました。

また、34ページにあります、朝食を毎日食べるという項目が全国平均を下回りますが、早寝早起き朝ごはんは、学力向上の一丁目一番地。朝ごはんを食べることは、健康の上でもとても大切なことです。

私が最近気になることは、親が糖質ダイエットをしていて、それに続いて子どもも食べないという話を聞きます。貧困で食べられないことは別の問題ですが、自分のダイエットに子どもを巻き込むことがないように、ご指導をしていただきたいです。子どもにしっかりと朝ごはんを食べさせることが、身近にできる学力向上への取り組みであると思います。

小林教育長

他に何かありますでしょうか。

よろしいでしょうか。それでは原案のとおり確認いたしました。

【原案どおり確認】

(教育委員会確認)

小林教育長

次に、報告第14号 甲府市議会9月定例会の審議状況について、報告第15号 平成28年度決算審査特別委員会の審議状況について、以上、一括して、資料に基づきまして、塩澤総務課長より説明をお願いします。

(塩澤総務課長より資料に沿って説明)

小林教育長

説明が終わりました。これより質疑に入ります。ご意見・ご質問等ありませんか。

小宮山職務代理者

まず、防犯カメラの設置について、小学校2校、中学校3校に設置しているとあるのですが、

設置の基準を教えてください。また、プライバシー保護の観点から必要最小限の撮影区域とあるのですが、どのような考え方から撮影場所を検討するのか、基準があれば教えてください。

宮川課長

まず、防犯カメラの設置基準につきましては、職員室から校門が見えないところを基準として学校に設置しております。また、プライバシー保護の観点につきましては、校外を映さないように、校舎内に重点的にカメラを設置しております。学校外ですと、児童生徒、教員以外の方も映りますので配慮しています。

小宮山職務代理者

わかりました。もう一点、トイレの洋式化について、どのようなスタイルのトイレのことをいうのでしょうか。

照沼教育施設課長

洋式化について、暖房便座のみの仕様のトイレを導入しております。小便器については、フラッシュバルブ製で自動に水が流れます。手洗いについても、自動に水が流れるものを採用しております。さらに、照明はセンサー式を使っていますので、児童生徒がトイレブースのドア以外に触らないで用を済ませることができる仕様になっています。

小林教育長

他にありますでしょうか。

堀委員

今のお話に関わることですが、学校視察に行った甲府商科専門学校のトイレが老朽化しています。学校からも改修の要望を上げているけれど、予算のことがあり、なかなか実現しないということでした。特に女子トイレが古くなっていて、利用する生徒に快く利用してもらいたいという学校のお話でした。今後、商科専門学校のトイレについてもリニューアルの計画はあるのかお聞きしたいです。

碓井甲府商科専門学校事務長

今年度、洋式便座のウォシュレット化をしております。まだ和式便座の数も多いので、計画的に洋式化を進めていきます。

堀委員

よろしくお願いします。

原委員

防犯カメラの設置について、小宮山職務代理者からも質問がありましたが、私の意見として、プライバシーの保護ということはとても大切なことだと思うのですが、私の知っている高校で、防犯カメラを設置して、やはりプライバシーに配慮していたところ、自転車を盗んでいる人間が

撮れたのですが、配慮しすぎて、足元しか映っていなかったという話があります。

防犯という意味ですので、公表する時に配慮をするべきではありますが、ある程度は撮っているのだと思います。しっかり撮らないと、抑止力にもなりませんし、実際に撮った映像を見たときに、誰なのかわからないのであれば、意味がありません。公表する時にはプライバシーに配慮する、けれど、機能は十分に効力を発揮してほしいと思います。

宮川課長

現在設置しております学校に関しましては、しっかり映像が記録される位置にカメラを設置しております。また、設置要綱を設けておりまして、一定の基準に保っています。

小林教育長

他に何かありますでしょうか。

よろしいでしょうか。それでは原案のとおり確認いたしました。

【原案どおり確認】

(教育委員会確認)

3 閉会

小林教育長

それではこれもちまして、10月定例教育委員会を閉会します。

